

# たまがわ

第120号  
福島県石川郡  
玉川村議会

発行責任者 須藤利夫  
編集委員会 大和田 宏・溝井 文樹  
岡部 勝良・大木 実  
印刷 南谷印刷



矢吹春奈さん(須釜中)の一般質問

## 主な内容

- 6月定例議会でこんなことが決まりました …… 2~3
- 村政ここが聞きたい …………… 4~8
- 村内企業2社を視察訪問 …………… 9
- 中学生模擬議会を開催 …………… 10

## 中学生議員が質問

須釜中学校と泉中学校の3年生が模擬議会を体験。村執行部に対し広く行政についての質問が行われました。

(10頁に記事)

## 中学生模擬議会を開催 24名の模擬議員が一般質問

### 議会の仕組みを実体験

7月14日に議会議場において、中学生の模擬議会を開催しました。この模擬議会は、中学3年生を対象に社会科学習の一環として議会の仕組みを実感してもらい、さらに行政に関心を持ってもらうことを目的に玉川村議会が主催しました。午前に須釜中学校、午後には泉中学校の生徒がそれぞれ12名の模擬議員を選出して、広く行政についての一般質問を行いました。執行部である村、教育委員会からは村長をはじめ村幹部が出席し、模



泉中学校3年生の模擬議会のようす

## 議会のうごき

### 5月

- 7日 議会広報編集委員会
- 10日 地方議員年金制度説明会(福島市)
- 18日~19日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
- 21日 村事業に関する説明会
- 24日 主要地方道矢吹小野線整備促進期成同盟会総会(石川町)
- 25日 第1回県市町村議会議長会定期総会(福島市)
- 31日 国道118号線整備促進期成同盟会総会(石川町)

### 6月

- 1日 県中地域福島空港活性化推進会議議長会設立総会(郡山市)
- 9日 議会運営委員会
- 14日~17日 6月定例議会
- 28日 第1回須賀川地方広域消防組合議会臨時会(須賀川市)
- 29日 町村議会広報研修会(郡山市) 石川地方町村議会議長会(石川町)

### 7月

- 1日 総務産業建設常任委員会による村内企業視察訪問(TBK、中根精工)
- 7日 飯野三春石川線整備促進期成同盟会総会(二本松市)
- 14日 中学生模擬議会(議場)
- 15日~17日 石川地方町村議会議長会視察研修(北海道清里町、池田町)
- 27日 石川地方生活環境施設組合議員全員協議会(石川町)

擬議員の質問に答えました。模擬議員と質問趣旨は次のとおりです。

#### 須釜中学校

- 阿部光之進「いじめの対策は行っているのか」
- 寺島真希「災害の対策をどのようにしているのか」
- 太田尊正「福島空港は閉鎖されるのか」
- 真野目菜摘「なぜ中学校を合併しないのか」
- 関根匠海「給食費滞納でどのような方策をとっているのか」
- 矢吹春奈「玉川」

#### 泉中学校

- 車田秋穂「村には大きなイベントが必要なのは、小林晃久」
- 金澤愛梨「どのような少子化対策をとっているのか」
- 阿部 恵「生徒数問題及び須釜地区の人口増加対策をどのように考えているのか」
- 石森俊貴「どのような自殺予防策をしているのか」
- 鈴木 瞳「玉川村の財政状況はどうなのか」
- 鈴木 耀「空港マラソンが廃止された理由は」
- 瀬谷千宙「なぜ国内研修場所を北海道にしたのか」
- 塩澤理人「村内に働く場所をつくる対策は」

- 飯田静香「策をとっているのか」
- 総合運動公園内の施設を利用し、の大会開催は」
- 矢吹涼華「こぶしの里の経営状況について」
- 車田陽介「国道沿いの空き店舗の今後の利用予定は」
- 高橋 魁「ポートピア周辺の不法投棄の対策は」
- 小針 翔「商業施設を村は誘致できないのか」
- 岡部 亮「通学区域で特に注意すべき箇所はどこか」
- 吉田秀樹「福島空港の存続に村はどう対応するのか」
- 車田純一「玉川村をどのようにPRしてゆくの」
- 鈴木麻美「住民税は1人どれくらい納めているのか」

## あとがき

毎日新聞の川柳欄にこんな句が投稿されておりました。苦勞して

子を知らずの

親御さんや祖父母の「良かれ」と思っている行動も、場合によっては子供達を甘やかし、ひ弱な大人にしかねないと、そんな皮肉・自戒の念が聞こえてきそうです。

6月から始まった子ども手当の支給も、甘やかしやワガママの元凶にならないことを願うばかりですが、一方で、古くから「父の恩は山よりも高く、母の愛は海よりも深し」という事も言われております。親子の関係はその置かれて

いる環境によって随分と違うのかもしれないが、未来を支える子供達を見て、世界の人々は日本という親の顔をどのように見るのでしょうか。遅く、そして優しい国民であって欲しいと願います。

(溝井文樹)



# 6月定例議会

## あ ら ま し

平成22年6月定例議会は、6月14日から17日までの4日間の会期で開催されました。

専決処分の承認を求めることについて4件、条例等の制定及び一部改正について3件、平成22年度国民健康保険特別会計補正予算など2件、その他合わせて村長提出議案12件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

### 専決処分

(起立全員)

### 一般会計補正予算

21年度一般会計において、国県支出金や地方交付税、地方譲与税等の一部に未確定のものがあったが、年度末に所要額が確定したので補正し専決処分した。

(起立全員)

### 国保特別会計補正予算

21年度国保特別会計において、未確定だった補助金が年度末に確定したことにより、所要額を補正し専決処分した。

(起立全員)

### 介護保険特別会計補正予算

21年度介護保険特別会計において、給付実績により基金からの繰入が不要になったことにより、所要額を補正し専決処分した。

(起立全員)

### 税条例の一部改正

地方税法の一部を改正する法律が本年3月31日に公布されたことに伴い、税条例の一部を改正する専決処分をおこなった。

(起立全員)

## 条例等

### 公の施設の利用の特例に関する条例

石川地方5町村の住民が各町村の公の施設を相互利用できるようにする協定に当たっての条例の制定。

(起立多数)

### 公の施設の相互利用に関する協議

石川地方5町村の公の施設の相互利用に関する協議について、地方自治法第244条の3第2項の規定により議会の議決を求めること。

(起立全員)

### 国民健康保険条例の改正

玉川村子ども医療費助成に関する規則の一部改正に伴い、対象年齢を9歳から15歳に改めるもの。

(起立全員)

### 国民健康保険条例の改正

国民健康保険法施行令及び国民健康保険の国庫負担金等算定に関する政令の一部改正、地方税法等の一部改正に伴う改正及び平成22年度の保険税を課税するための税率の改正。

(起立全員)

### 重度心身障がい者医療費の給付に関する条例改正

本年4月1日から身体障がい者手帳認定の内部障がいの規定に肝臓機能障がい加わったことなどによる所要の改正。

(起立全員)

### 村民利用バス購入契約について

日本宝くじ協会の助成決定を受け、中型バス購入の契約を締結するため議会の議決を求めること。

(起立全員)

## 補正予算

### 22年度国保特別会計補正予算

保険税の算定結果に基づき所要額を補正し、歳入歳出それぞれ204万1千円を追加するもの。

(起立全員)

### 22年度介護保険特別会計補正予算

高額医療合算介護サービス費の支出見込額が算定されたことなどにより所要額を補正し、歳入歳出それぞれ276万円を追加するもの。

(起立全員)

## 議員発議

### 「非核三原則」の早期法制化を求める意見書

福島県原爆被害者協議会の山田舜会長（福島市）より陳情のあった「非核三原則」の法制化を求める意見書について

### 町村議会議員年金制度の廃止を求める意見書

3月議会に引き続き、6月議会にも同じ内容で発議があった溝井丈樹議員からの国に対する意見書案の提出については、審議の結果、再び賛成者なしで否決された。

(要旨)

議員年金制度は、年金財政の悪化や市町村合併による議員数の減少、積立金の枯渇などにより制度維持が極めて困難な状況にあります。では、

国や地方が公費でこの制度を支えてくれるかと言えば、納税者からの反発・非難は想像に難くありません。この際は、国の責任において、議員年金制度の廃止に向けた話し合いが行われることを要望するものです。ただし、既に受給資格を有している者への配慮は求めます。

### 繰越明許費の報告

国の補正予算による地域活性化のための経済危機対策臨時交付金における各種事業については、一部21年度一般会計から22年度一般会計に繰越される報告がされました。なお、繰越明許費の内訳は下の表のとおりです。

平成21年度玉川村一般会計繰越明許費繰越計算書

平成22年6月14日現在

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				実施状況	
					既収入 特定財源	未収入特定財源				一般財源
						国庫支出金	県支出金	地方債		
2 総務費	1 総務管理費	光ファイバー通信基盤整備事業	111,974,000円	101,166,000円	67,202,000円	33,963,000円		1,000円	完了	
		ふれあいセンター屋上防水改修事業	6,195,000円	6,195,000円	5,000,000円			1,195,000円		
		J-A L E R T 設備設置事業	7,220,000円	7,220,000円			7,129,000円	91,000円		
3 民生費	2 児童福祉費	子ども手当支給事業	2,888,000円	2,888,000円		2,887,000円		1,000円		
		保健センター修繕事業	7,105,000円	7,105,000円	6,000,000円			1,105,000円		
4 衛生費	1 保健衛生費	水路整備事業	21,377,000円	18,824,000円	17,000,000円			1,824,000円	完了	
		街路灯設置事業	6,200,000円	6,200,000円	5,000,000円			1,200,000円		
7 商工費	1 商工振興費	村道等維持補修事業	32,000,000円	32,000,000円	28,676,000円			3,324,000円		
		地方特定道路整備事業	11,480,000円	9,059,000円	8,100,000円			959,000円	完了	
8 土木費	2 道路橋梁費	校長住宅屋根塗装修繕事業	1,456,000円	1,456,000円	800,000円			656,000円		
		就業改善センター修繕事業	1,041,000円	1,041,000円	700,000円			341,000円		
10 教育費	1 教育給付費	屋内運動場耐震補強事業	129,043,000円	129,043,000円	21,341,000円	46,820,000円	59,600,000円	1,282,000円		
		校舎屋根防水シート補修事業	924,000円	924,000円	600,000円			324,000円		
		プール循環浄化装置取替事業	4,269,000円	4,269,000円	3,000,000円			1,269,000円		
	2 川辺小学校費	理科教育設備整備事業	674,000円	674,000円		276,000円		398,000円	完了	
		プールサイド改修事業	6,230,000円	6,230,000円	5,000,000円			1,230,000円		
	3 玉川第一小学校費	理科教育設備整備事業	897,000円	897,000円		448,000円		449,000円	完了	
		プール循環浄化装置取替・本体塗装事業	11,722,000円	11,722,000円	10,000,000円			1,722,000円		
	4 須釜小学校費	理科教育設備整備事業	877,000円	877,000円		424,000円		453,000円	完了	
		教室入口建具取替事業	1,048,000円	1,048,000円	700,000円			348,000円	完了	
	5 泉中学校費	プール修繕事業	599,000円	599,000円	400,000円			199,000円		
理科教育設備整備事業		673,000円	673,000円		336,000円		337,000円	完了		
6 須釜中学校費	廊下窓すり取り事業	281,000円	281,000円	150,000円			131,000円	完了		
	理科教育設備整備事業	412,000円	412,000円		205,000円		207,000円	完了		
7 幼稚園費	すがま幼稚園屋根塗装修繕事業	3,896,000円	3,896,000円	3,000,000円			896,000円			
	すがま幼稚園分舎屋根塗装修繕事業	3,507,000円	3,507,000円	2,600,000円			907,000円			
11 災害復旧費	1 公共土木施設復旧費	現年補助災害復旧事業	28,370,000円	23,783,000円		14,840,000円	7,400,000円	1,543,000円		
		現年単独災害復旧事業	1,500,000円	1,500,000円				1,500,000円		
	2 農林水産業施設災害復旧費	農業用施設等補助災害復旧事業	5,838,000円	3,866,000円			200,000円	3,666,000円		
合計			409,696,000円	387,355,000円	185,269,000円	100,199,000円	7,129,000円	67,200,000円	27,558,000円	

## 陳情2件不採択

### 【保育制度改革に関する意見書を求める陳情】

陳情者は、福島県保育連合会世話人代表の大宮勇雄氏。文教厚生常任委員会に付託し審議した結果、陳情の内容が現状に整合していない部分があり不採択となった。

### 【安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情】

陳情者は、国土交通省管理職ユニオン東北支部長堀井寿氏。総務産業建設常任委員会に付託し審議した結果、国が進める地域主権等に逆行していることから不採択となった。





本年6月に国際友好都市台湾鹿谷郷を訪問

は、道路・交通網の整備や維持管理、光通信網の整備、新規水源開発、農業集落排水事業、防災体制の充実などがあ  
ります。  
共に支えあい、いきいきと暮らせる村づくりでは、社会福祉協議会活動支援、高齢者福祉、児童母子福祉、障がい者福祉の充実であります。また、子育て支援の充実や介護保険制度、国民健康保険制度、後期高齢者医療制度の充実、的確な運営に努めてまいりました。  
豊かな人間性、郷土を愛する心を育む村づくりでは、幼稚園の複数年幼児教育の実施、幼小中連携事業の取り組

み、幼児教育施設や学校教育施設の充実に積極的に取り組んできました。また、高齢者学級や女性講座の開催、スポーツ活動やコミュニティ活動の振興などの充実に努めてまいりました。  
魅力的で、活力に満ちた村づくりでは、農業の振興、農家所得の向上、農業後継者や担い手育成を図るために、関係機関団体との連携を密にし、集落営農組織の構築や耕作放棄地対策などに積極的に取り組んできました。また、商業活性化や工業の振興を図るために商工会への支援、企業訪問や企業との懇談会を開催いたしました。経済雇用対策では、ふるさと雇用対策事業や緊急雇用対策事業の取り組みを行いました。  
時代の変化に的確に対応できる村づくりでは、住民との懇談会開催を通じて協働の地域づくり、村づくりの振興に努めると共に、地域交流活性化事業の推進を図りました。また、東京玉川会や台湾鹿谷郷との交流促進や行政運営の

効率化、財政基盤の確立を図るための行財政改革の推進にも取り組んでまいりました。  
後期計画の策定に当たつての村の目指す将来像につきましては、前期計画と同じであります。暮らしやすい村づくり、住み良い地域づくりを目指して協働による村づくりを推進していかねばなりません。そのためには、基礎学力の向上や幼・小・中連携強化推進による教育の振興、農業・工業・商業のバランスのとれた産業の振興、水道水源の確保と水供給体制の整備などによる生活環境基盤整備、子育て支援や保健・医療・介護・福祉の向上推進、地域



須賀川消防署玉川派出所

と人が輝く地域活性化の展開をキーワードに、住民アンケート調査や住民懇談会を計画し、皆様のご意見やご要望をお聴きし、計画に活かしていきたいと考えております。  
これまでの主な事業の実績については、大きな柱ごとに説明がありました。計画に沿って取り組まれたものについては評価したいと思っております。中には実施できなかったものもあると思っております。その中から次の2点について、経過等を伺います。  
①須賀川消防署玉川派出所における24時間体制の整備  
②総合運動公園の空き地化している広場の整備



総合運動公園第二工区

①については、特段須賀川広域消防署には要請はしておりません。②については、財政的に容易ではない観点から、一旦白紙に戻し、庁内の会議で引き続き検討しているところです。  
この2点については、後期計画に盛り込む考えなのか。また、いくつかのキーワードの説明がありました。これらを大きな柱として策定に当たるとか。今後のスケジュールと併せてお答え願います。  
この2点については盛り込みかどうかはまだ分かりません。策定に当たっては国の施策の動向を見ながら検討してまいります。  
スケジュールについては庁内で検討し、アンケート調査を実施して、その集計結果を踏まえて地区懇談会を行い、住民のご意見を十分反映した素案作りをし、諮問委員会で十分検討いただき、12月の定例議会において具体的な中身について説明できるよう進めていく予定です。

### 6月定例議会

# 村政ここがききたい

村の答えは?



大和田 宏 議員

### 3議員が一般質問

(▲印の項目は質問と答弁の内容を要約してお知らせいたします。)

- ①大和田 宏議員
  - 玉川村民俗資料館の設置について
  - ▲第5次玉川村振興計画後期計画の策定について
- ②田子武幸議員
  - ▲川辺小学校の児童数の減少に対する対応について
  - 口蹄疫対策について
  - 川辺沖駅の駐輪場の整備について
- ③溝井文樹議員
  - 村長選後の初ボーナスについて
  - ▲公共事業の投資額、雇用創出、納税について
  - 役場職員の人事、職階、職責について

### 今回から一問一答方式を導入

今回の議会から一般質問の方式が変わりました。これまで、議員からの一括質問に対して執行部が一括答弁をし、再々質問までに限定されてきました。これを「一問一答方式」に改め、議員1人当たりの質問時間を1時間までとしました。また、執行部に反問権が認められました。

Q 第5次玉川村振興計画後期計画の策定に  
ついて  
A 地域と人が輝く地域活性化の展開をキーワードに、住民のご意見ご要望を計画に活かしたい

今年度は、玉川村振興計画に沿っての23年度以降5年間の具体的実施計画が策定される年であり、社会環境あるいは経済状況の変化を見極め、今後の見通しを立  
てながら玉川村の方向性を見出し、この策定に当たることが大切であり重要なことであると思っております。  
この前期5年間の実績はどうであったのか、また後期基本計画を策定するに当たり目指すべき村の将来像をどのよ

うに考えているのか  
第5次玉川村振興計画では、「未来へつながる村づくり、元氣な村づくり」を将来像とし、5つの柱を基本目標に住民と行政とのパートナーシップによる協働の村づくりのため、村民のご理解を頂くとともにご支援ご協力を得ながら推進してきたいと考えています。  
これまでの主な実績について、環境にやさしく快適で安心して暮らせる村づくりで







田子武幸議員

Q 川辺小児童数減の村の対策は

A 現在、庁内で検討中です

川辺小学校への入学児童数が平成25年には4名となりその後も増加する見通しは無い状況である。川辺区民は、川辺小学校の将来について、村ではどのような方針を示すのか関心があり、対策に注目している。村として、この問題にどう対応するのか。

成29年度からは複式が2つと成ります。このような実態を想定し、

下の表を参照していただきますと分かりますが、平成25年度は4名の入学児童であり、その後も10名未満の入学児童数が続き、平成28年度の入学児童数も4名であります。また、平成26年度から3年間は複式学級が1つ、平

川辺小学校 今後の入学予定児童数

平成22年4月1日現在

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入学児童数	10	10	11	4	8	9	4

25年度以降の学年別 児童数と学級数の推移

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全児童数	学級数	形態
25年度	4	11	10	10	11	9	55	6学級	単式
26年度	8	4	11	10	10	11	54	5学級	複式1
27年度	9	8	4	11	10	10	52	5学級	複式1
28年度	4	9	8	4	11	10	46	5学級	複式1
29年度	未定	4	9	8	4	11	.	4学級	複式2
30年度	未定	未定	4	9	8	4	.	4学級	複式2

役場庁内でも玉川村政策調整連絡会議で取り上げており、これがまとまったら、保護者、地区民に知らせると同時に、今後の川辺小の在り方や方向性についてプロジェクトチームを編成して結論づけたいと考えております。

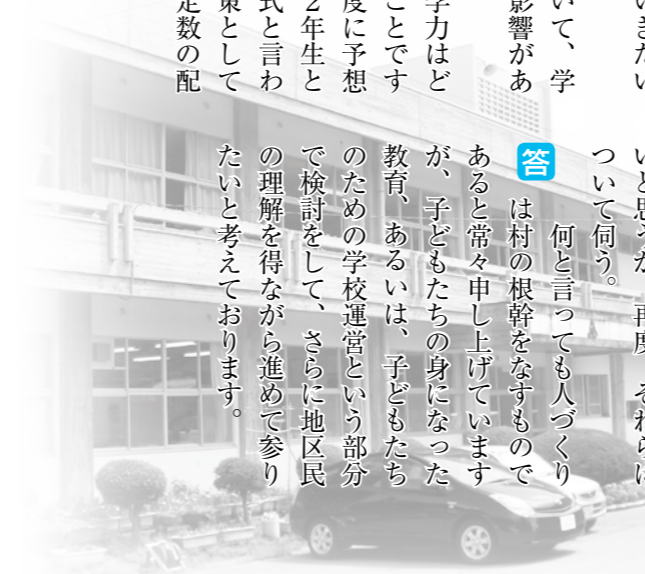
私が考える対策としては、まずひとつは、この際、統合してしまうというところが考えられると思う。あとは、学区の再編成を行って、川辺小学校の児童数を増やすという考え方で存続維持を図るといふものである。例えば、蒜生区を川辺小の学区にするというようにあるかと思うかがどうか。

只今、統合又は学区の再編という2点について考え方をいただきましたが、それらについては、ご意見として承って、現在、政策調整連絡会議等で議論しているところなので、その議論の中に意見として取り入れていきたいと思っております。

複式学級について、学力にどのような影響があるのかお伺いしたい。

複式における学力はどうかという点については、例えば平成26年度に予想される複式学級は、2年生と3年生による変則複式と言われるもので、県の施策として複式解消という形で定数の配

置が行われることもありま。なお、複式だから学力が落ちるといふことは無いと思。競争心というものについて、どうなんだろうかと思。ただ、複式学級も地域の方々にご覧になっていた。それらを参考にしながら考えていただきたいと考えております。



この問題は、子ども地域のエゴというか、そういうことは二の次にして、やはり子どもの学力の向上、あるいは子どものためになるような方法を見出していきたいと思。再度、それらについて伺う。

何と言っても人づくりは村の根幹をなすものであると常々申し上げていますが、子どもたちの身になった教育、あるいは子どもたちのための学校運営という部分で検討をして、さらに地区民の理解を得ながら進めて参りたいと考えております。

平成21年度につきましては、極力、村内業者への発注に心がけております。村内業者が発注できなかった主な事業についてであります。防災行政無線固定系設備改修工事「四辻新田水源さく井工事」「住宅用火災警報器設置工事」等でありまして、入札参加資格に登録されていない業種についての工事については指名できませんので、工事内容によっては指名できない事業も

あります。

現在、村の工事発注に「指名競争入札」「見積競争入札」により実施しております。「一般競争入札」の導入等の議論もあるところではあります。が、村内業者への発注を考。現時、現行の制度を継続・維持することも大切なことと考えております。

多額の予算が村内に落ち、また雇用も生まれれば、村内業者からの法人税や

(次頁へつづく)



溝井丈樹議員

Q 平成21年度の村内公共事業投資額、雇用創出、納税について問う

A 村内業者への発注高は33件、4億5680万円ありました

玉川村の平成21年度一般会計当初予算額は29億円でした。それが、国や県の経済対策や雇用創出など、各種の交付金・補助金により、3月末までの段階で補正予算額は37億9709万円にまで膨らんでおります。

膨らんだ事業の中身としては、学校をはじめとした公共施設の屋根塗装や修繕、公用車の購入、水路の整備、災害復旧工事、農業推進協議会への助成、光ファイバー網の敷設、学校へのデジタルテレビ等購入、耐震補強工事などが挙げられ、それ以外にも、

大きなところでは上水道事業特別会計での水道管敷設替え工事などがありました。

経済対策や雇用創出などにこれらの予算が使われるという点では、ある意味歓迎されるべきものなのかもしれません。玉川村にとって気になるのは、村内に落ちたお金と雇用数、そして納税額です。

ついては、以下の6点についてお尋ねいたします。

平成21年4月から平成22年3月までの間に支払いが行われた事業は何件で、総額はいくらだったのか、ま



各小中学校に配置されたデジタルテレビ

た、そのうちの何件・いくらが村内の業者に発注されたのでしょうか。

平成21年度予算の各項目の工事請負費・修繕費・工事に係る委託料のうち、100万円以上の発注件数は53件でありました。支払い総額につきましては、6億2408万円であり、その内、村内業者への発注は33件、4億568万円でありました。

村内の業者に発注がされなかった事業がある場合、その代表的な事業名とその理由とを複数お知らせ願



玉川第一小学校体育館耐震補強工事

村内の業者に発注がされた事業の場合、そこで

生まれ雇用数は延べ何人となるのでしょうか。

平成21年度につきましては、国の補正予算の取り組みができましたことにより、近年になく多くの事業を実施することができました。村内業者へも例年になく発注できたと考えておりまして、雇用の創出も図られておりまして、考えておりますが、人数については把握しておりません。

現在、村の工事発注に「指名競争入札」「見積競争入札」により実施しております。「一般競争入札」の導入等の議論もあるところではあります。が、村内業者への発注を考。現時、現行の制度を継続・維持することも大切なことと考えております。

多額の予算が村内に落ち、また雇用も生まれれば、村内業者からの法人税や

(次頁へつづく)



